

公益社団法人 日本経営工学会
第 33 期第 1 回理事会議事録

日 時：平成 27 年 7 月 4 日（土），15:00～19:00

場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館 5F 大会議室

出席者：（理事）河野宏和，二ノ宮滋，外館晃，篠田心治，松林伸生，伊呂原隆，稻田周平，
岩崎昭，斎藤文，小西昭士，内田耕平，大久保寛基，皆川健多郎

（監事）後藤正幸

欠席者：（監事）高橋勝彦

議決事項

1. 第 32 期第 12 回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より、(資料:1-1)に基づき第 32 期第 12 回理事会議事録（案）が提示され、議事録として全会一致で承認された。

2. 第 33 期第 1 回臨時理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より、(資料:1-2)に基づき第 33 期第 1 回臨時理事会議事録（案）が提示され、議事録として全会一致で承認された。

3. 入会承認の件

会員担当理事より、(資料:1-3)に基づき、正会員 9 名，学生会員 3 名の入会申請が報告され、全会一致で承認された。あわせて、(資料:1-3)に基づき、平成 27 年度会員異動報告がなされた。学生会員の増加傾向から、春季大会において発表者に向けて行った入会促進の効果が見られるが、秋季大会では、さらなる会員増を図ることが必要であるとの意見があり、方法等については、今後の検討事項とした。また、賛助会員の退会希望者の慰留措置をとることが必要であるという意見のもと、今後事務局で賛助会員窓口担当者を確認し、全理事に報告することとした。

4. 第 33 期支部長承認の件

支部担当理事より、(資料:1-4)に基づき、第 33 期支部長候補者が報告され、全会一致で承認された

5. 第 33 期委員会委員の件

庶務担当理事より、(資料:1-5)に基づき、第 33 期委員会委員が報告され、必要に応じて兼務を認めることとし、全会一致で承認された。今後、委任状を出すとともに、任期終了前にお礼状（継続依頼・任期満了）を出すこととした。

6. 第 33 期研究部門長・幹事の件

研究担当理事より、(資料:1-6)に基づき、各研究部門の役員が報告され、研究部門幹事について全会一致で承認された。

7. Best Presentation Award の表彰状、受賞者の件

表彰担当理事より、(資料:1-7)に基づき、受賞者 5 名の報告があり、受賞者には春季大会の正式名称を記載した賞状とトロフィーを郵送することが全会一致で承認された。今後、学会ホームページへ各受賞者の審査項目、研究内容等の詳細を掲載するとともに経営システム誌への報告を掲載することとした。

8. 経理細則改定の件

財務担当理事より、(資料:1-8)に基づき、経理細則改定案の説明があった。これに対し、(1) 第 10 条の「理事」を「役員」に修正する、(2) 第 19 条の文言は第 16 条に合わせて、「支部担当理事は、各支部ごとの予算を取りまとめて財務担当理事に提出する。支部担当理事は、各支部ごとの決算を取りまとめて財務担当理事に報告する。」という形に修正する、ことを条件に全会一致で承認された。また会長より、委員会等学会の活性化に繋がる会合への全ての出席者に対しても旅費を支給することの可能性についての提案があり、まずは事務局で各委員会開催にかかる費用

の試算をし、報告することとした。

9. 研究部門活動において懇親会費支出をする際のガイドライン

研究担当理事より、(資料:1-9)に基づき、説明がなされ、「研究部門活動において学会収入の形で参加費を徴収し、学会予算の執行の形で懇親会を実施する会合」における懇親会費については、必ず事前に理事会の承認を得ることが全会一致で承認された。

10. 生産物流部門 国際ワークショップの開催企画書

研究担当理事より、(資料:1-10)に基づき、提案がなされ、会員増につながる活動(賛助会員に直接声をかけるなど)という視点で今後検討していくことを条件に、全会一致で承認された。

11. 他団体年会費支払いの件

国際渉外担当理事より、(資料:1-11)に基づき、報告がなされ、4学協会への年会費の支払いについて全会一致で承認された。なお、FMESの年会費については10万円から1万円に減額となる旨の説明があった。また、JABEEについては、今後、年会費の妥当性について確認をしていくこととした。

12. その他

なし

協議事項

1. JIMA 今後の施策について

産学連携担当理事より、(当日配布資料)に基づき、産学連携研究会の発足等について提案および依頼があった。産学連携研究会の発足については全会一致で承認され、それを受けて今後はアクションプランの詳細(会員増に向けての周辺領域関係者のデータベース化など)について活性化タスクフォースを中心に検討し、次回以降の理事会に提案することとした。

2. 2016年度の大会について

大会担当理事より、(当日配布資料)に基づき説明があり、2016年度秋大会については日本IE協会と共同開催する旨の提案があり、同協会と共同で検討を進めていくことを全会一致で承認した。これに伴い2016年度春大会については西関東支部(金土日の3日間開催の可能性も検討)、2017年度の春大会は関西支部に依頼する方向で検討を進めていくことにした。また、2015年秋の大会でも活性化プロジェクトとして何か企画できないかを検討することとした。

3. ホームページの問題点と提案

庶務(広報)担当理事より、(資料:1-12)に基づき、説明および提案がなされ、トップページの変更等を含め、今後さらに検討していくことを全会一致で承認した。

4. APIEMS2017について

会長より、APIEMS2017側から学会主催で開催をとの打診があったが、学会活性化等の施策の方が優先と判断し同会議の実施は見送りたいとの意向が示され、全会一致で承認された。

5. The 2nd EAWIEについて

会長より説明がなされ、当初は特定のテーマに添った関係者のみの会議とし、全般的な会議はAPIEMSでという整理であったはずなのが、異なる方向に企画が進んでいるようなので、主催側に対し方向性の確認を会長より行いたいという提案がなされ、全会一致で承認された。

6. 常設委員の見直しについて

庶務担当理事より、(資料:1-13)に基づき、提案がなされ、調査委員会およびJIMA/JABEE委員会を廃止することが全会一致で承認された。

7. その他

庶務(広報)担当理事より、千葉工業大学教員公募情報の学会HPへの掲載漏れの報告があった。これについて、(1)事務局で経緯を再度確認の上、報告すること、(2)会長名で千葉工大にお詫びをする、(3)今後の対策について庶務委員会と事務局で協議する、ことを全会一致で承認した。

報告事項

1. 退会について

会員担当理事より、(資料:1-3)に基づき、退会について報告がなされた。

2. 財務委員会の活動計画(案)について

財務担当理事より、(資料:1-14)に基づき、財務委員会の活動計画(案)について報告がなされた。今後は、四半期毎に副会長(財務担当理事)より予算執行状況を理事会で報告することとし、次回理事会の議題とすることとした。

3. 経営工学3団体連携事業運営委員会開催報告について

財務担当理事より、(資料:1-15)に基づき、開催結果報告がなされた。

4. 事務局との今年度の契約更新の件について

庶務担当理事より、(資料:1-16)に基づき、契約更新の件について報告がなされた。契約書から「自動更新」の文言が削除されている件については、事前に会長および財務担当理事と話し合いのもと、再協議を必要とするまでには至らないと判断した旨の説明があり、次年度については、契約更新案を事務局より早い時期に提示してもらった上で、必要に応じて双方で協議をすることとした。

5. 協賛行事他委員会報告事項について

国際渉外担当理事より、(資料:1-11)に基づき、協賛行事他委員会について報告がなされた。

6. 2015年度春季大会決算について

大会担当理事より、(資料:1-17)に基づき、2015年度春季大会決算について報告がなされた。

7. 疑義のある論文に関する件について

編集担当理事より、(当日配布資料)に基づき、「機密資料を無断使用していると指摘のあった論文」について経緯の報告があり、今後の対応について協議がなされた。まずは、第33期委員より再度当該者2名へリマイン드의メール連絡を行い、その結果を踏まえて今後の対応を検討することとした。

8. 第33期日本経営工学会論文誌エリアエディタについて

編集担当理事より、(資料:1-19)に基づき、第33期日本経営工学会論文誌エリアエディタについて報告があった。編集委員との兼任も含め、エリアエディタについては編集委員会において承認することを確認した。

9. 掲載料・別刷代請求一覧について

編集担当理事より、(資料:1-20)に基づき、掲載料・別刷代請求一覧について報告があった。

10. その他

- 事務局より就任承諾関連の提出書類について簡単な説明を行い、詳細は、後日メールにて再度通知することとした。

※次回第33期第2回理事会は、平成27年9月19日(土)15:00~18:00、慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館5階大会議室にて開催する。

議 長 河野 宏和 印

議事録署名人 後藤 正幸 印